

【緒言】近年、本邦でも MICS が盛んに行われるようになったが、多くの施設で良好な脱血を得られず工夫を凝らしている。昨年、Edwards Life science より MICS 用カニューレ Quick Draw (以下 QD) が発売され高評価を得ているが、従来品と比べ側孔の数も少なく、末梢血管アプローチ用として十分な性能が得られているか疑問であった為、従来品と比較検討することとした。

【実験】比較は 22Fr の VFEM、QD で行った。リザーバに接続したチューブ内にカニューレを内挿し遠心ポンプ一次側に接続、二次側に 1/4in チューブを用いリザーバに接続した。カニューレを内挿するチューブは 2 種類 (1/2in, 3/8in) で、各サイズ 200rpm 刻みで流量及び一次側の圧力を測定した。QD は 22 と 25Fr の 2 サイズがあり、22Fr のみ Proximal hole が 2 個開いている。今回、QD は normal と Proximal hole を塞いだものを用いた。【結果】両チューブ共に QD の圧力損失は低値を示し、脱血不良時に生じるチューブの震えも少なかった。Proximal hole を塞いだ QD カニューレは VFEM よりは良好な結果であったが、normal QD には及ばなかった。【考察】QD は VFEM と外径は同じ 22Fr だが内径は大きく、side hole の数が少なくても良好な脱血を得られるものと考えられる。また、Proximal hole が存在することで更に低圧で良好な脱血が得られるものとする。

評価 1	評価 2		評価 3		採否
発表日時 月 日 (第 日)	セッション		会場		時 分～ 時 分

受付番号

演題番号